

## 2020年3月期 決算について

2020年 5月15日  
JFE鋼板株式会社

### 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(百万円未満切捨て)

#### 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%			
2020年3月期	64,253	△ 2.1	876	△ 364	256
2019年3月期	65,648	6.9	597	△ 16	362

注 連結子会社数 2020年3月期 5社、2019年3月期 5社  
持分法適用関連会社数 2020年3月期 1社、2019年3月期 1社

(百万円未満切捨て)

#### (参考)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益	特別損益	当期純利益
	百万円	%			
2020年3月期	52,683	△ 7.2	540	△ 363	274
2019年3月期	56,788	5.6	300	△ 7	235

#### 【当期の概況】

当期の国内薄板建材の需要は、上期において台風被害の復興需要や消費税率引上げの駆け込み需要により住宅(持家)が堅調でしたが、下期以降は、オリンピック需要の終息による非住宅の活動水準低迷、溶融亜鉛めっき鋼板における安価な輸入鋼板の流入拡大等により前年比マイナスが継続し、住宅は前期比▲1.6%(新設住宅着工戸数[持家])、非住宅は前期比▲8.2%(非住宅着工床面積)となりました。

#### 【当期の損益】

連結経営成績は売上高64,253百万円(前期比▲1,395百万円)、経常利益876百万円(前期比+279百万円)、当期純利益256百万円(前期比▲106百万円)となりました。経常利益は子会社であるJFE機材フォーミング(株)の次世代足場「ファステック」の好調等により増益となった一方、当期純利益は台風被害による損失計上の影響、京浜設備休止の減損計上等により、減益となりました。

#### 【次期の見通し】

薄板建材需要は住宅・非住宅分野ともに低迷するとみられており、加えて新型コロナウイルスの感染拡大によりさらに落ち込むものと考えられます。このような環境下で以下の施策を実行し、収益確保を目指します。

- 1) 販売面においては、数量減少を最小限に抑えると同時に適正販価の維持を図ります。
- 2) コスト面においては、品質安定化、塗料コスト削減に加え、販売量に見合ったラインの最適運用により、合理化を実施します。
- 3) 建材事業については、関係会社を含めた一貫戦略のもと、収益力アップを目指します。

以上